

令和6年度九州森林管理局の取組に関する調査

< 調査概要 >

対象者条件

性別：男女
年齢：18歳～69歳
地域：九州・沖縄
その他：国会議員、地方議員、地方公共団体の長、国家公務員は除外

回収数

本調査：500サンプル

調査期間

2025年1月28日（火）～1月29日（水）

調査機関

株式会社ネオマーケティング

Q1

あなたは、林野庁を知っていましたか。

※以下の画像を確認してからお答えください。

森林にかかわる省庁：林野庁

✓国の機関で元気な森林をつくっているのは**林野庁**

✓林野庁は**森林を通じてサービス**を提供。森林整備や林業、木材産業の活性化に貢献

● 林野庁の役割

森林整備の推進

快適な生活環境
美しい景観の維持・創造



林業や木材産業の活性化

山村の主要な産業である
林業を盛り上げ、地域を元気に



○はい

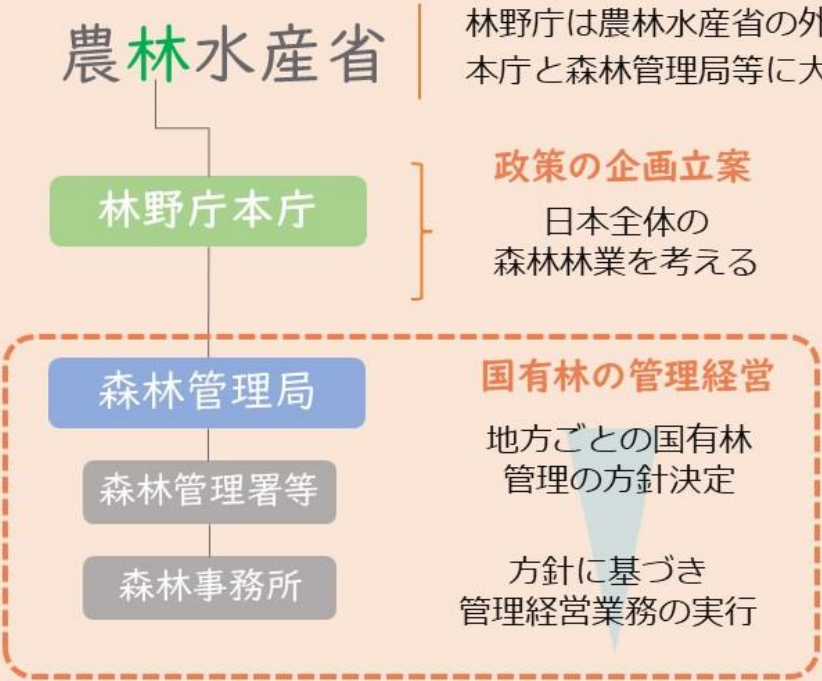
○いいえ

Q2

あなたは、九州森林管理局を知っていましたか。
※以下の画像を確認してからお答えください。

どういった組織なのか？

- ✓九州森林管理局は林野庁に属する（林野庁は農林水産省の外局の一つ）
- ✓森林管理局は全国に7つあり、九州森林管理局はそのひとつ



九州内の組織



○はい
○いいえ

Q3

あなたは、国有林を知っていましたか。

※以下の画像を確認してからお答えください。

国有林とは？

- ✓国が所有している森林のことを**国有林**という
- ✓全国の森林面積のうち、国有林は約3割
- ✓九州だと森林面積のうち、国有林は約2割

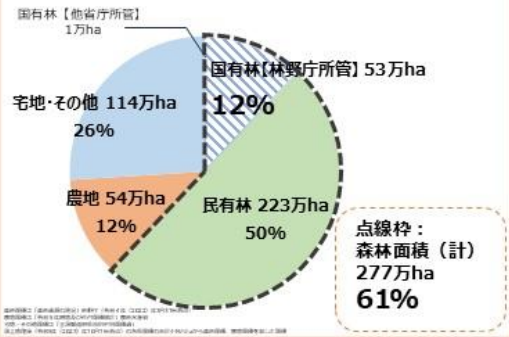
国有林の分布（林野庁所管）
【濃い緑が国有林】



国土面積と森林面積の内訳



九州に占める国有林の割合



○はい
○いいえ

あなたがすでに知っている森林の機能についてすべての番号を選択してください。

※以下の画像を確認してからお答えください。

森林のさまざまな8つの機能

その1 保健・レクリエーション機能

安らぎや癒し、
スポーツの場な
どを提供する



その2 生物多様性保全機能

遺伝子や生物
種、生態系を、
守る



その3 山地災害・土壌保全機能

土砂の流出や
山崩れを防い
でいる



その4 水源かん養機能

水を蓄え、きれ
いにし、洪水か
ら守る



その5 地球環境保全機能

CO₂を吸収し
たり、化石燃
料の代わりにな
る



その6 木材等生産機能

森林は環境に
やさしい資材で
ある木材等を
生産する



その7 快適環境形成機能

気温の調整や
大気をきれいに
する



その8 文化機能

芸術や伝統文
化、環境教育
の対象になる



- 1. 心身の癒しや安らぎの場をもたらす保健・レクリエーション機能
- 2. 貴重な野生動植物の生息・生育の場である生物多様性保全機能
- 3. 山崩れ、洪水などの災害を防止する山地災害防止・土壌保全機能
- 4. 水資源を蓄えたり、水質を改善する水源かん養機能
- 5. 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を緩和する地球環境保全機能
- 6. 住宅資材や紙の原料となる木材やきのこ、山菜等を生産する木材等生産機能
- 7. 夏の気温低下、冬の気温上昇、木陰・大気浄化、騒音防止などをもたらす快適環境形成機能
- 8. 景観、学習・教育、芸術、伝統文化、地域の多様性維持などを指す文化機能
- その他
- 知っているものは一つもない

Q5

あなたは、森林のさまざまな機能の中で何に一番期待しますか。あてはまるものを一つ選択してください。

※以下の画像を確認してからお答えください。

森林のさまざまな8つの機能

その1 保健・レクリエーション機能

安らぎや癒し、
スポーツの場な
どを提供する



その2 生物多様性保全機能

遺伝子や生物
種、生態系を、
守る



その3 山地災害・土壌保全機能

土砂の流出や
山崩れを防い
でいる



その4 水源かん養機能

水を蓄え、きれ
いにし、洪水か
ら守る



その5 地球環境保全機能

CO₂を吸収し
たり、化石燃
料の代わりにな
る



その6 木材等生産機能

森林は環境に
やさしい資材で
ある木材等を
生産する



その7 快適環境形成機能

気温の調整や
大気をきれいに
する



その8 文化機能

芸術や伝統文
化、環境教育
の対象になる



- 1. 心身の癒しや安らぎの場をもたらす保健・レクリエーション機能
- 2. 貴重な野生動植物の生息・生育の場である生物多様性保全機能
- 3. 山崩れ、洪水などの災害を防止する山地災害防止・土壌保全機能
- 4. 水資源を蓄えたり、水質を改善する水源かん養機能
- 5. 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を緩和する地球環境保全機能
- 6. 住宅資材や紙の原料となる木材やきのこ、山菜等を生産する木材等生産機能
- 7. 夏の気温低下、冬の気温上昇、木陰・大気浄化、騒音防止などをもたらす快適環境形成機能
- 8. 景観、学習・教育、芸術、伝統文化、地域の多様性維持などを指す文化機能
- その他
- 特にない

九州森林管理局における重視すべき森づくりの考え方について、以下の画像にまとめております。あなたは、以下の画像の九州森林管理局における森林タイプ別のうち、どの森づくりに一番期待していますか。あてはまるものを一つ選択してください。

※以下の画像を確認してからお答えください。

5つの森づくりの考え方



菊池溪谷の渓流, 熊本森林管理局

森林空間利用タイプ

森づくりの考え方

保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成



富之浦岳, 鹿児島森林管理局

自然維持タイプ

森づくりの考え方

良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持



一ツ瀬ダムに流れる水を蓄えている森林, 西郷児湯森林管理局

水源かん養タイプ

森づくりの考え方

人工林の間伐や伐採時期の長期化、広葉樹の導入による多様な森林の誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮



由布岳の北側, 大分森林管理局

山地災害防止タイプ (土砂流出・崩壊防備エリア)

森づくりの考え方

根の広がりや下層植生の発生が良好で常に落葉層を保持した森林を維持し、必要に応じて治山施設等の整備を実施



虹の松原, 佐賀森林管理局

山地災害防止タイプ (気象害防備エリア)

森づくりの考え方

遮蔽能力と風害、飛砂、潮害等の気象害に対する抵抗性が高い樹種によって構成される森林の維持

- 森林空間利用タイプ（保健、レクリエーション、文化機能を発揮する国有林）
- 自然維持タイプ（森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林を保全する国有林）
- 水源かん養タイプ（水を蓄え、きれいにする国有林）
- 山地災害防止タイプ【土砂流出・崩壊防備エリア】（土砂の流出、崩壊から被害を守る国有林）
- 山地災害防止タイプ【気象害防備エリア】（風害、飛砂、潮害から住居や環境の悪化を防ぐ国有林）
- わからない
- 特にない

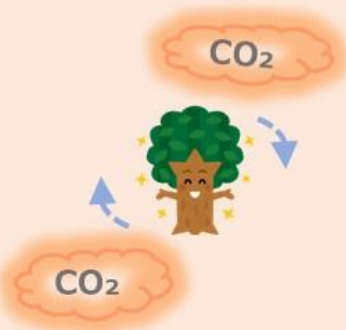
Q7

あなたは、水源かん養タイプの取組が、伐採や植栽を行い、水源かん養機能の維持・増進を図ることを知っていましたか。

※以下の画像を確認してからお答えください。

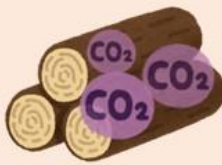
水源かん養タイプでの取組

① 部分的に伐採し、若い森林を増加



・若い木のほうがCO₂の吸収量が大い。
・奥地に広葉樹を植栽し、多様な森林を形成することで病虫害や災害に強く、生物多様性の豊かな森林になる。

② 木材を使用し、家や家具等でCO₂を固定



・木を伐り、丸太を製品にし、家や家具等に使用することで、CO₂が固定される。
・木材は、家や家具等に利用されている間も森林と同様に炭素が蓄積・固定されている。

③ 花粉発生源対策



花粉の少ないスギ苗木

・花粉の少ないスギの品種等の開発とその苗木の生産拡大に取り組み、スギ等の伐採跡地への植栽を促進している。

④ 木を伐った後は必ず植林



伐採跡地に植栽する様子

・森林を守って、育てていくためには、木を伐って、使って、植えて、育てる一連のサイクルが必要。
・未来の日本の森林・林業を守るため、国有林では、伐採後の植林を100パーセント実施。

○はい
○いいえ

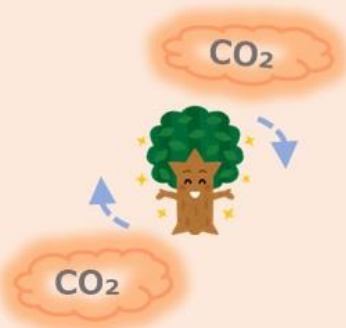
Q8

あなたは、人工林を若返らせる（伐採し、植える）ことで、CO₂の吸収量（地球温暖化対策）が維持・増進されることを知っていましたか。

水源かん養タイプでの取組

① 部分的に伐採し、若い森林を増加

② 木材を使用し、家や家具等でCO₂を固定



・若い木のほうがCO₂の吸収量が大い。
・奥地に広葉樹を植栽し、多様な森林を形成することで病虫害や災害に強く、生物多様性の豊かな森林になる。



・木を伐り、丸太を製品にし、家や家具等に使用することで、CO₂が固定される。
・木材は、家や家具等に利用されている間も森林と同様に炭素が蓄積・固定されている。

③ 花粉発生源対策

④ 木を伐った後は必ず植林



花粉の少ないスギ苗木

・花粉の少ないスギの品種等の開発とその苗木の生産拡大に取り組み、スギ等の伐採跡地への植栽を促進している。



伐採跡地に植栽する様子

・森林を守って、育てていくためには、木を伐って、使って、植えて、育てる一連のサイクルが必要。
・未来の日本の森林・林業を守るため、国有林では、伐採後の植林を100パーセント実施。

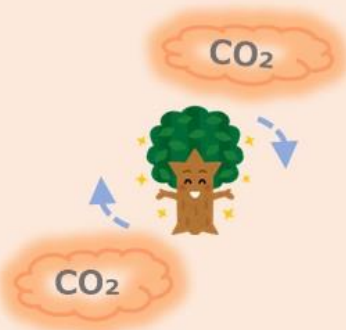
○はい
○いいえ

Q9

あなたは、伐採後に製品となった木材を家や家具等に使用することにより、CO₂を固定できること（地球温暖化対策に寄与できること）を知っていましたか。

水源かん養タイプでの取組

① 部分的に伐採し、若い森林を増加



・若い木のほうがCO₂の吸収量が大い。
・奥地に広葉樹を植栽し、多様な森林を形成することで病虫害や災害に強く、生物多様性の豊かな森林になる。

② 木材を使用し、家や家具等でCO₂を固定



・木を伐り、丸太を製品にし、家や家具等に使用することで、CO₂が固定される。
・木材は、家や家具等に利用されている間も森林と同様に炭素が蓄積・固定されている。

③ 花粉発生源対策



花粉の少ないスギ苗木

・花粉の少ないスギの品種等の開発とその苗木の生産拡大に取り組み、スギ等の伐採跡地への植栽を促進している。

④ 木を伐った後は必ず植林



伐採跡地に植栽する様子

・森林を守って、育てていくためには、木を伐って、使って、植えて、育てる一連のサイクルが必要。
・未来の日本の森林・林業を守るため、国有林では、伐採後の植林を100パーセント実施。

○はい
○いいえ

最後に、あなたは、「九州森林管理局のご紹介」を見てどう思われましたか。

※興味を持った部分、知らなかったこと、その他要望などを自由に記載ください。

森林にかかわる省庁：林野庁

● 林野庁の役割

森林整備の推進

快適な生活環境
美しい景観の維持・創造



林業や木材産業の活性化

山村の主要な産業である
林業を盛り上げ、地域を元気に



国有林とは？

● 国が所有している森林のことを**国有林**という
● 全国の森林面積のうち、国有林は約3割 ● 九州だと森林面積のうち、国有林は約2割

国有林の分布（林野庁所管）
【濃い緑が国有林】



国土面積と森林面積の内訳

項目	面積 (ha)	割合 (%)
森林	3,780,270	68.1
農地	441,170	8.2
その他の土地	1,178,560	23.7

九州に占める国有林の割合

項目	面積 (ha)	割合 (%)
森林	543,710	12%
農地	114,710	26%
その他の土地	223,580	50%

5つの森づくりの考え方

森林空間利用タイプ

森づくりの考え方
保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成



自然維持タイプ

森づくりの考え方
良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持



水源かん養タイプ

森づくりの考え方
人工林の間伐や伐採時期の長期化、広葉樹の導入による多様な森林の形成等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮



山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア）

森づくりの考え方
根の広がりと土壌植生の発生が良好で常に土壌層を保持した森林を維持し、必要に応じて山崩れ防止等の整備を実施



山地災害防止タイプ（気象災害防備エリア）

森づくりの考え方
遮風能力と風高、雨砂、潮害等の気象害に対する抵抗性が強い樹種によって構成される森林の維持



こういった組織なのか？

● 九州森林管理局は林野庁に属する（林野庁は農林水産省の外局の一つ）
● 森林管理局は全国に7つあり、九州森林管理局はそのひとつ

農林水産省

林野庁本庁

森林管理局

森林管理署等

森林事務所

林野庁は農林水産省の外局の一つ
本庁と森林管理局等に大きく分けられる

政策の企画立案
日本全体の森林林業を考える

国有林の管理経営
地方ごとの国有林管理の方針決定

方針に基づき
管理経営業務の実行

九州内の組織



森林のさまざまな8つの機能

その1 保健・レクリエーション機能

安らぎや癒し、スポーツの場などを提供する



その2 生物多様性保全機能

遺伝子や生物種、生態系を守る



その3 山地災害・土壌保全機能

土砂の流出や山崩れを防いでいる



その4 水源かん養機能

水を蓄え、きれいにし、洪水から守る



その5 地球環境保全機能

CO₂を吸収したり、化石燃料の代わりになる



その6 木材等生産機能

森林は環境にやさしい資材である木材等を生産する



その7 快適環境形成機能

気温の調整や大気をきれいにする



その8 文化機能

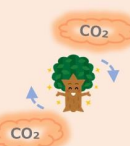
芸術や伝統文化、環境教育の対象になる



水源かん養タイプでの取組

① 部分的に伐採し、若い森林を増加

若い木のほうがCO₂の吸収量が大きい
・林地に広葉樹を植栽し、多様な森林を形成することで雨風害や災害に強く、生物多様性の豊かな森林になる。



② 木材を使用し、家や家具等でCO₂を固定

・木を伐り、丸太を製品にし、家や家具等に使用することで、CO₂が固定される。
・木材は、家や家具等に利用されている間も木と同様に炭素が蓄積・固定されている。



③ 花粉発生源対策

・花粉の少ないスギの品種等の開発とその苗木の生産拡大に取り組む。スギの伐採跡地に他の樹種を定植している。



④ 木を伐った後は必ず植林

・森林を守って、育てていくためには、木を伐って、切って、植えて、育てる一連のサイクルが必要。
・本来日本の森林、林業を守るため、国有林では、伐採後の植林を100パーセント実施。

